

中の島公園再整備 市民意見交換会

日 時 2023年10月15日(日) 午前9時30分～午前11時
場 所 吹田市文化会館(メイシアター)1F 集会室
参 加 者 18名(他、子ども2人)
事 務 局 吹田市土木部公園みどり室
吹田市都市魅力部文化スポーツ推進室
株式会社 現代ランドスケープ
アドバイザー 大阪産業大学 川口准教授

1. 意見交換 質疑

【再整備全般】

参加者) 下水道部の工事跡地は、来年度から始まる市発注の工事ではどうするのか。

事務局) 今年度末で下水道部の工事が終わるので、跡地は再整備工事のヤードとして活用する。

参加者) 過去に中の島公園内にプールがあった場所はどのあたりか。

事務局) 管理棟の南側で、現在は多目的グラウンドとテニスコート。管理棟は事業者再整備範囲。多目的グラウンドとテニスコートは再整備しない予定。

参加者) 市による再整備と事業者による再整備とが分かれるとの事だが、この説明会は市の再整備の話という認識で良いか。

事務局) 市による再整備も事業者による再整備も含めた全体の再整備の話。スライド3ページの黄色で示した箇所が事業者による再整備予定の範囲。ワークショップ等の意見を条件として示す形になり、スライド7ページで示したエントランスのイメージは「開放的なエントランス」「キッチンカーが止められるスペース」など事業者へ提示する際のイメージである。

事務局) 事業者の公募において、市の考え方を事業者へ示して公募する予定。

【エントランス】

参加者) イメージには今ある野球フェンスがない。

事務局) なくなるわけではなく、薄く緑色で表現。柱等を描くと複雑になり意図が伝わりにくい為、イメージでは示していない。

参加者) イメージが変わるため残すものは描いて欲しい。

参加者) イベント時は自転車の駐輪台数が多い。自転車置場を分散させて設置するようだが、足りないと思う。イベント時に対応可能な駐輪場の台数を確保すべき。

事務局) イベント時に臨時駐輪場が設けられるように設計。

参加者) イベントの頻度が多いので、臨時ではなく常時必要ではないか。

事務局) 柔軟に対応できる広場を設けることで、対応したい。

【あそびのひろば】

事務局) ワークショップでは人気の滑り台を残してほしい、安心して遊びまわれる場所や自然で遊べる場所が欲しいという意見等があった。緑豊かな空間に幼児の遊び場を集約し、用途を分けることで遊びの安全性を確保し、芝生ののびやかな空間を設計。

- 参加者) あそびのひろばの芝生は人工芝か。
- 事務局) 人工芝ではなく、天然芝を予定。
- 参加者) 丘を活用した子どもの遊び場について、子どもがけがをして危ないのでは。
- 事務局) 周囲にゴム製マット等を導入するなど安全には留意する。
- 事務局) ワークショップでは、地形を活かした遊びの場や複合遊具の提案があった。その後、参加者と意見交換している中で、複合遊具ではあまり遊ばないという意見をもらった。そこで、大型すべり台として3案提案する。A案は20mのロングスライダー、B案は複数の子どもが遊べる幅広いワイドスライダー。中の島公園近辺の公園では設置されていない。C案は地形に合わせた滑り台を複数設置する案。
- 参加者) 紫金山公園のローラー滑り台と比較し、特徴はどうか。
- 事務局) 紫金山公園のローラー滑り台よりは短くなる。座面は、紫金山公園のようなローラーだと尻が痛くなる場合もあるので、半チューブ型を考えている。
- 参加者) どのように登るのか。
- 事務局) 芝生の斜面を登ることを想定している。遊具周辺には安全領域が必要なため、落下可能性のある範囲に階段などの硬さのある設備を入れることはできない。
- 参加者) 保護者がそばで見守れる高さであれば、安心して遊べる。
- 参加者) 子どもが一人で遊ぶことができるのか。
- 事務局) 対象年齢の基準をもとに設置する。
- 参加者) 遊具を管理する人がいなければ危ない。対象年齢のシールを貼っていても危ない。
- 事務局) 榎大池公園の滑り台や紫金山公園のローラー滑り台で、大規模な事故は起こっていない。
- 参加者) 危険を乗り越えることのできる滑り台に挑戦することが、子どもにとっては面白い事だと思う。
- 参加者) ブランコの設置は検討しているのか。100人ブランコ(北九州市立響灘緑地の世界最長ブランコ)のような大規模のブランコ設置はしないか。
- 事務局) ブランコは既存の遊具の活用を考えている。ワークショップでは地形を活かしてほしい、既存の人研ぎ滑り台はハードルが高いが楽しいなどの意見があった。挑戦のハードルを少し下げた滑り台を設置することで、子どもの成長につながり、ステップアップできるような配置にしたい。広場に複合遊具を設置することはできるが、現状は夕方に広場で中学生がボール遊びをしている。広場に複合遊具を設置することで、ボール遊びができない広場になってしまうため、中学生のボール遊びを許容できるよう配慮した。
- 参加者) 吹田市他地域に比べ、市南部の公園は寂しい印象を持っている。子どもと公園遊びをする時は、千里北公園や佐井寺の公園へ行く。近年南吹田の公園がリニューアルされたが、新たに整備された上新田公園のクッション遊具は大人気。個人的には、滑り台はロングスライダー、ワイドスライダーが良いと思うが、長いとか、広くて長いなど、中の島公園のシンボルとなるような遊具にして欲しい。ローラーは、尻が痛くなるので、A案のチューブなら、とてもよく滑れそうで楽しいだろう。地形を活かした遊具の設置は賛成だが、規模やインパクトが小さい。中の島公園に行ってみたく思えるような、インパクトのある遊具を設置してほしい。
- 事務局) 長さや高さを求めるのは、地形等の制約があるので難しい面もある。予算はあるが、すべり台単体で考えるのではなく、周辺の作り方などで工夫したい。

【健康遊具】

参加者) 現状の健康遊具は3箇所しかなく健康遊具の広場というほどではない。

事務局) ワークショップでは健康遊具が使いにくいという意見があったが、現地調査では既存の健康遊具はよく使われていることを確認した。あそびのひろばにも鉄棒等ベーシックな施設を設置し、子ども利用に対応したい。

参加者) 健都レールサイド公園の健康遊具と同規模の遊具を導入することは難しいと思うが、中の島公園にも年配者が利用できる健康遊具を充実させてほしい。

【水景施設】

事務局) 予算面で市での設置は難しい。水栓等を設置した泥遊びや自然遊びができる場を設けたいと考えている。

参加者) 中の島公園にはプールがあった過去もあり、ワークショップでは水で遊べる場が欲しいという意見が出た。水景施設の導入は費用面から難しいとのことだが、難しい施設を入れることに民間参入の意味があるのではないか。伊丹空港にも新たに遊べる水景施設が設置され喜ばれている。吹田市としても、水の遊び場を条件に事業者が参入できるよう努力してほしい。エントランス等への設置を目指して欲しい。遊具は子育て層など現役世代の声を聞くのはもちろん、若い人や高齢者の意見を取り入れて欲しい。

事務局) 水景施設の導入について、事業者へヒアリングしたところ、導入費用に加えて、メンテナンス費用も課題であることを言われており、常設ではなく、大阪城公園で実施されているような、夏季限定の水遊び広場を検討している。

事務局) 伊丹空港に設置された規模の水景施設を導入するとしても費用が課題。夏場だけ舗装広場にスプリンクラーを設ける等、水遊びのスペースを一時的につくれるよう、エントランスにはスペースを設けた。導入しやすく利用者が満足できるような水遊び場の設置を、事業者へ相談していきたい。

参加者) 大阪市内に整備された水辺の公園では、裸で泳いでいる人を見た事があるので、そのような利用を誘発しない再整備にして欲しい。

事務局) 公園管理者が公園に駐在するため、利用を見守り注意するなども可能になる。

【いろどりひろば】

事務局) ワークショップでは、スポーツの観戦ができる空間が欲しいという意見があった。一定の緑は残しつつ、テニスコートまでの見通しを確保したい。老木となった桜の更新が必要。桜は連作を嫌うが、ここでの土の入れ替えは難しいと思うのでマウンドアップ等をしながら、更新できるようにしたい。

事務局) テニスコートは工事用地として大阪府へ借地しているが、現状復旧でテニスコートとして返却される。

【もりのひろば】

事務局) 柔軟に使う場をつくりたい。社会実験ではハンモックの設置等をしたが、今後も実験を通して様々な遊び方や使い方ができるよう発信出来たらと考えている。

参加者) もりのひろばは再整備しないのか。

参加者) 夏場は木陰を利用し、体操をするのに近所の人たちで集まり利用している。木陰が生きるよう木を残してほしい。

参加者) イロハモミジは美しいので残してほしい。

事務局) ワークショップで、中学校のバッファーとして残してほしい、森のようなまとまった緑を残してほしいなどの意見を踏まえ、枯損木は撤去するなど植栽の管理をしながら樹木は残してしていく方針。事業者には、事業者エリアとの相乗的な活用を提案頂きたいと考えている。木陰としての利用が高い場所なので、魅力的な展開ができるよう活かしていきたい。

【園路】

事務局) 園路の舗装について、ワークショップでは足に負担の少ない土系舗装への希望が多かった。利用の多い北側はハード舗装、川沿い遊歩道と連絡する南側は土系にし、両方を採用する。川沿いはメタセコイアの並木に加え、新たに桜の補植やベンチの新設等を進めたい。

参加者) 降雨の後、走れないのは困る。

事務局) そうならないよう、水はけのよい素材を使用したい。

参加者) 中学生が登下校で中の島公園を使っている。下新庄駅から公園を通過して自宅に帰る人もいる。ランニングコースに、自転車利用が見受けられる。これら人と自転車の動線を分けた園路整備してほしい。歩道と自転車の位置関係、夜間照明等を事業者再整備で反映してほしい。

事務局) 入口にバイクの駐車場があるが、バイクや自転車のまま侵入し園内を通過する人もいる。ハード面だけではなく運営面からも対策を考える必要がある。

【スポーツグラウンド】

事務局) スポーツグラウンドは多種目・多目的で使う方針。

参加者) 観客のスペースはどこになるのか。

事務局) 建物の建設等は難しいが、見やすいよう地盤を高くし観覧スペースをつくりたい。

参加者) グラウンドに人工芝を整備するということだが、水はけや寝転がれるなどのメリットもある一方、夏場暑い等のデメリットもあると思う。先日、社会実験の下準備でグラウンドに入った際、参加した子どもたちが走り回り、寝転がり広い空を見ていた。そのような利用があるので、寝転べる人工芝の整備は賛成である。

事務局) 人工芝は雨天後も、すぐ利用ができる為、稼働率が上がることから、導入を検討していく。

【管理棟】

参加者) 地域の人が無料で使える居場所を作って欲しい。中高生の集まる場所や高齢者がラジオ体操した後気軽に地域の人が集まれる居場所にして欲しい。会議室とするのではなく、中高生も自習をするなど、自由な談笑の利用が生まれるような空間を作って欲しい。まちなかりビング北千里のように、木のぬくもりがあり、居心地がよい場所にして欲しい。管理棟の再整備内容はどのような内容か。

事務局) 1階はスポーツ施設使用の受付窓口や、トイレ、会議室等を設置、2階は職員の事務室等を考えている。

【トイレ・サイン等】

参加者) トイレは、事業者が再整備するのか。トイレが故障している。

事務局) トイレは事業者の必須項目で実施。江坂公園で事業者がトイレを再整備し、美しく評価が高い。中の島公園も公園トイレ、トイレも含めた管理棟の改修を予定。

参加者) 公園内のどこに何の施設があるかわからない。

事務局) 総合案内板など併せて事業者による再整備を考えている。

【運営（看板、花火など）】

事務局) ワークショップでは花火をしたいという意見があったが、今のルールでも公園で花火をすることは可能。社会実験等を通して公園で花火をしても良いことを発信するなど、理解を広げ利用につなげたい。花火をするための水場の設置等、安全にできるよう整備面で配慮したい。

参加者) 公園には禁止事項の立て看板が多い。口頭で注意してくれた方が良い。市民が楽しんでいることを立看板でやめろというのは良くない。

参加者) 気にかかる利用があっても、市民からはその利用者を注意しにくい。指定管理者の管理内容に、公園の利用者への注意を盛り込んでほしい。

事務局) 指定管理者が常駐するので、きめ細かな対応が可能になる。

参加者) 移動図書館の巡回立ち寄りが可能か。

事務局) 巡回を依頼することはできる。メインエントランスはそのような利用を考えている。(後の確認で、令和3年8月をもって移動図書館ゆめぶんこは運行を終了していることを確認)

参加者) モバイルスポットになればよい。キッチンカー等、様々な飲食店の出店があれば良い。

事務局) キッチンカーは社会実験でニーズを確認したい。電源の確保などは設計に活かしたい。2台を予定しているが、公園に電源が無いことが課題。エントランスを、キッチンカー等の利用の受皿になるよう設計する。

参加者) キッチンカーが利用するプロパンガスにより、爆発等の危険が無いか心配。

【災害対応、環境配慮など】

参加者) 中の島公園の標高を知っているか。河川氾濫時に浸水被害が想定されている。地盤を高くする等、水害を想定して設計してほしい。

事務局) 河川管理者である大阪府へも、意見を共有する。

参加者) 事業者による再整備でできる新しい施設の上に太陽光発電などは当然、設置すると考えてよいのか。市として市民へ太陽光発電の設置を推進しているのであれば、駐輪場の屋根に設置するなど市の事業でも対応してほしい。

事務局) 検討していきたい。

参加者) 隣の下水施設を活用しバイオマス発電をして、エネルギー問題へ貢献してほしい。

事務局) 下水道部にもご意見を共有する。

参加者) 台風でトイレの北側にあったクワの木が倒れた。在来種でもあるクワは継承して入れて欲しい。昆虫の種類はどのくらいいるのか。子どもたちが虫取りできるようになれば良い。

事務局) もりのひろばの樹木は樹液も多く、昆虫が多く集まるような生き物の豊かな場所。

【市民との意見交換の場】

参加者) 事業者工事の前に、市民へ説明会を行い、再整備内容に対して意見を取り入れて欲しい。

事務局) 事業者が決まった時に、工事の内容等の説明会をする予定。再整備内容はHP等で公開する。

参加者) 桃山公園での経験だが、事業者の計画がどうなるか市民はわかりにくい。事業計画案は、選定委員会でのプレゼン内容が計画に反映される。内容を知りたいければ、吹田市に情報公開請求をする必要がある。今は事業者の計画内容がわからないが、採用された時点で内容が分かる。この説明会の他に、事業者設計案に対し市民と意見交換の場を設けて欲しい。それがワークショップの意見が生きてくるかの分かれ目。説明の場が予定されていない事は問題。この公園はワークショップを重ね丁寧に取組んできたが、今後も意見を聞く場を持ち続けて欲しい。その時の会場は、公園の近くで実施してほしい。

事務局) 桃山公園での反省を活かし、中の島公園ではワークショップを行い、意見交換の場を設けているところ。

【その他】

参加者) スケボー禁止ではなく、もりのひろばにスケボー初心者が使えるような設備を設置してほしい。

参加者) 説明会について、地域の人達の意見を聞くためには、第三中学校など、中の島公園に近い会場で開くべき。

事務局) ワークショップは公園に近い会場にしたが、今回は場所がとれずこの会場を使用することとした。

2. とりまとめ

アドバイザー) 頂いたご意見は、目指すべき姿の理念「CREATE PARK LIFE～『水辺の森×スポーツ×地域交流 みんなでつくろう 中の島 パークライフ』にある「パークライフ」の内容。公園は、今まで子どもの遊び場や運動する場等、単一目的で捉えられがちだったが、ラジオ体操後に談笑するなどの利用は、まさにパークライフ的な利用といえる。小さい子が安心して遊具で遊べるか、中高生が過ごせる場所であるか等、次世代利用の在り方を皆真剣に考えていた。特にいろいろな利用を支える上で設備が大事という話。後で付け足したり、イベントの度に持っていくのは大変なので、電源や水道の配置、照明等、設備をどうするかは丁寧に考える必要がある。水景施設は常設では無く仮設で検討したいということだが、仮設的な利用ほど、受け皿として丁寧に設計する必要がある。

アドバイザー) せっかくのリニューアル機会であり、インパクトが欲しい、これまでワークショップで意見を出したのにこれしか変わってないという事になって欲しくないという意見もあった。大事に守らなくてはならないこと、変わる必要があるところ、それぞれの丁寧な設計が大切である。

中の島公園は、スポーツ施設と公園施設が併設。設計プロセスとしても分かれる必要があり、全体の整合性が弱みでもあり強み。事業者による再整備が、どのように進むかわからないことに、参加者は不安を感じていた。再整備後では意見が反映されないとの意見があったが、市は事業者に向けた仕様書について、ワークショップの意見をどのように事業仕様書へ反映したか市民に示してもらおうよう検討してほしい。事業者も経済性が求められ、事業努力も必要であり、仕様書の意図通りに再整備されるとは限らない。初期投資をしてもこの場所なら来てくれるからやりましようとして事業者が判断すれば、再整備内容は良くなる。

- アドバイザー) 環境配慮の意見も様々出た。エネルギーや生態系の話は、時間をかけないとできないことであり未来を見据えて丁寧に考える必要がある。
- アドバイザー) 参加者は「パークライフ」「well-being」というような利用快適性を公園に求めたいと考えていた。利用快適性は立場や利用により異なるが、安全性を保ちながら三方良しに公園、環境に配慮した公園を目指したい。
- アドバイザー) 設計をする上で住民から意見が直接もらえる機会は少ない。ワークショップを実施しても、通常はワークショップをした意見を設計に反映した段階で業務は終わるが、ワークショップ後も、社会実験があり、その中で考えの変化も起こっていて、その過程を設計に反映することができる。そのようなプロセスの設計への反映は良いこと。